



10.30 世界のウチナーンチュの日
WORLD UCHINANCHU DAY

平成 30 年度 沖縄文化芸能指導者派遣事業 報告書



シカゴ沖縄県人会 WORLD UCHINANCHU DAY in CHICAGO ～結伝～

沖縄文化芸能指導者派遣事業委託業務 報告書

目次

第1章 事業概要

1-1 事業趣旨	4
1-2 事業概要その1 アメリカ・オハイオ	8
1-3 事業概要その2 アメリカ・シカゴ	10
1-4 事業概要その1 カナダ・バンクーバー	12
1-5 事業実施スケジュール	14

第2章 行程詳細

2-1 事前現地確認	16
2-2 旅行行程 オハイオ	18
2-3 旅行行程 シカゴ	24
2-4 旅行行程 バンクーバー	32

第3章 メディア掲載事例

3-1 新聞	40
--------	----

第4章 関連資料

4-1 制作物	44
4-2 掲示物・配布物	45

第1章 事業概要

シカゴ公演での記念撮影



バンクーバー公演での記念撮影



オハイオ公演での記念撮影



1-1 事業趣旨

1) 事業概要

「世界のウチナーンチュの日」に関連してイベント等を実施する海外県人会に対し、沖縄の持つ多様で魅力的な文化芸能の指導者を派遣し、その活動を支援することで、沖縄が持つ魅力を海外に発信するとともに、海外県人会と沖縄のつながりを継承・発展・強化する。

2) 事業目的

- ① 「世界のウチナーンチュの日」の定着化（イベント開催支援）
- ② 海外県人会におけるウチナーネットワーク強化につながる文化的取り組みの拡大
- ③ 海外における関係者（特に若い世代）の沖縄文化等への興味・関心の拡大

3) 事業内容

海外県人会が主催する「世界のウチナーンチュの日記念イベント」に合わせて沖縄から文化芸能の指導者を派遣することを通して、母県沖縄との絆を強め「世界のウチナーンチュの日」のイベント等について、海外県人会が主体的かつ継続的に取り組んでいけるよう支援する。

4) 派遣先及び派遣芸能指導者

総合コーディネーター／平田大一

①オハイオ州沖縄友の会

指導者 花城悠（諸見里青年会／伝統エイサー指導）
砂川広平（諸見里青年会／伝統エイサー指導）
伊禮廉太（諸見里青年会／伝統エイサー指導）

②シカゴ沖縄県人会

指導者 上江洲安秀（龍神伝説総長／創作エイサー及び獅子舞など芸能全般を指導）

③バンクーバー沖縄県友愛会

指導者 亀井美音（三線指導及び琉球舞踊アドバイス）
岩崎カンナ（現代版組踊ダンス「ダイナミック琉球」）

総合コーディネーター 平田大一



【プロフィール】

1968年沖縄小浜島出身。大学卒業後「小浜島キビ刈り援農塾」を主宰、文化を基調とした地域活性化を一生の仕事と決める。2001年「きむたかホール館長」、2005年「那覇市芸術監督」、2011年「沖縄県文化観光スポーツ部長」に抜擢、2013年から4年間「(公財)沖縄県文化振興会」の理事長に。現在は沖縄文化芸術振興アドバイザーとして新たな地域活性化のモデルづくりのトップランナーとして更なる挑戦を続ける。舞台演出家、南島詩人、また内閣府沖縄振興審議会にも在籍。

派遣先県人会との連絡及び調整業務を通じ現地県人会の要望を把握し、それにふさわしい指導員の人選と選定、ワークショップ及び指導プログラムの構成や進行の統括、また舞台やイベントの演出助言や企画提案など、幅広い専門知識と文化感性を持った総合的なコーディネーターとして、平田大一氏を起用。

【経歴】

- ・前 公益財団法人 沖縄県文化振興会 理事長 2013年6月～2017年6月
- ・元 沖縄県文化観光スポーツ部 部長 2011年4月～2013年3月
- ・世界エイサー大会2013年～2015年 大会会長
- ・第1回E i s a - E X P O 2016 総合プロデューサー兼統括責任
- ・世界エイサー大会2017年 総合演出

■オハイオ／諸見里青年会（写真左から） 砂川広平 花城悠 伊禮廉太



【プロフィール】

エイサーの街、沖縄市の青年エイサーの中でもダイナミックで勇壮な演舞と優雅な手踊りが目を惹く「諸見里青年会」。オハイオ州の県人会では、経緯は諸説あるが、設立当時の約20数年前からこの諸見里青年会のエイサーを踊り継いできており、今でもオハイオ州の県人会ではウチナーチムグクルを実感できる大切な芸能として大切にされてきている。今回、長年の夢であった本場、諸見里青年会の花城悠会長を先頭に、前の会長の砂川広平さん、若手リーダー伊禮廉太さん等を招き、初めての現役青年会メンバーによる、現地オハイオ州での直接指導が実現することとなった。この度の派遣事業を通じて、ウチナーチムグクルの継承と発展をねがい、オハイオ州沖縄友の会の、ネクストステージの幕開けとチャレンジになるであろうと思う。

■シカゴ／上江洲安秀（龍神伝説総長／創作エイサー及び獅子舞など芸能全般を指導）



【プロフィール】

うるま市を拠点に県内外でも名の知れた「龍神伝説（具志堅司主宰）」で活動する、上江洲安秀さんは、若手ながら「総長」の肩書きを持つ。創作エイサーの指導のみならず、獅子舞や旗の演技、京太郎舞など芸風も多彩だが、今回は舞台全体の構成演出でも大活躍。去る6月に開催された「ジャパンフェスティバル（シカゴ日本人会主催）」では日本を代表するメインアトラクションの演出としてシカゴの沖縄メンバーと舞台を手がけ、大きな反響を呼んだ。今回はその感動ステージをさらにブラッシュアップした、チムドンドンな内容を目指す。現地、若手プレイヤーとのコラボが見どころ、老若男女から慕われるナイスガイである。

■バンクーバー／亀井美音 (三線指導及び琉球舞踊アドバイス)



【プロフィール】

沖縄県立芸術大学 音楽学部 琉球芸能専攻 卒業

野村流保存会 三線教師免許 取得

卒業後、カナダ語学留学中、地元の方々の要望で三線教室を開く他、バンクーバー沖縄太鼓クラブと共に、「ニューイヤーズイブバンクーバー2015 (バンクーバー市主催)」日系人祭り「パウエル祭」など、多数公演に参加。

帰沖後、多様な音楽経験を活かし、歌三線、ソロ歌手としてマルチに活動中。

2017年、沖縄タイムス主催古典芸能コンクール三線部門グランプリ受賞。

2018年、オーストラリア・メルボルンにて東日本大震災復興を目的とした「JSCレインボープロジェクト」、「日豪ジュニアプロジェクト」を支援するチャリティーコンサート「美ら島の唄」を開催(豪州かりゆし会主催)。

■バンクーバー／岩崎カンナ (現代版組踊ダンス「ダイナミック琉球」)



【プロフィール】

石垣市出身／八重山高校卒

El Camino College卒業

小学生の頃より、平田大一が演出する八重山の舞台

「現代版組踊 オヤケアカハチ〜太陽の乱〜」の役者、女性アンサンブルとして常に中心的役割を担う。高校卒業後、単身渡米し北米の大学に進学、その傍で学外のダンスチームに所属、語学とダンスの上達を目指すとともに、ダンスを通じた沖縄ネットワークの形成にも積極的に参加。

昨年の沖縄文化芸能派遣事業では、北米沖縄県人会、ブラジル県人会の弾丸ツアーにも強力参戦し大活躍。今回は、次世代向けの「ダイナミック琉球」の指導を始め、舞台演出の進行補助も担う。

1-2 事業概要その1 アメリカ・オハイオ

- 1) 派遣先： オハイオ州沖縄友の会
- 2) イベント名： WORLD UCHINANCHU DAY in Ohio USA
※今回初めて世界のウチナンチュの日の記念イベントを実施
- 3) 日時： 2018年10月27日(土) 13:00 - 15:00
- 4) 場所： 米国オハイオ州コロンバス市
- 5) 指導内容： エイサー
- 6) 指導者： 花城悠、砂川広平、伊禮廉太(諸見里青年会)
- 7) 派遣期間： 平成30年10月20日(土) - 10月29日(月)
- 8) 県人会概要：
沖縄県出身者とその家族が集まり、沖縄文化の良さを確認し、交流を促進する集いの場を提供し、沖縄文化への理解を高めることを目的に1995年に設立。
現会長はJune McVey氏。琉球舞踊や三線、琉球國祭り太鼓オハイオ支部などが活躍。



諸見里青年会によるエイサー指導の様子



平田氏による次世代ワークショップの様子



本番当日のイベントの様子



会場レイアウトにも凝ってます

9) 会場

Capital City Church

1290 Old Henderson Rd, Columbus, OH 43220



会場外観入り口



ホール室内の様子



本番会場の外観を他の角度から



ジューン会長夫妻と会場・音響スタッフ

1-3 事業概要その2 アメリカ・シカゴ

- 1) 派遣先： シカゴ沖縄県人会
- 2) イベント名： WORLD UCHINANCHU DAY CELEBRATION in CHICAGO
世界のウチナーンチュの日記念イベント ～結伝 (yuiden) ～
つながろう 伝えよう 島心
※今回始めて世界のウチナーンチュの日記念イベントを実施。
- 3) 日時： 2018年11月3日(土)17:30-19:30
- 4) 場所： 米国イリノイ州シカゴ市
- 5) 指導内容： エイサー（創作エイサー、獅子舞等芸能全般）
- 6) 指導者： 上江洲安秀(龍神伝説)
- 7) 派遣期間： 平成30年10月25日(木)-11月5日(月)
- 8) 県人会概要：
1966年設立。現会長はPaula Schmidling氏。
琉球舞踊や三線、祭り太鼓エイサー、空手などに取り組んでいる。日系の聖マタイ幼稚園のエイサーグループとコラボレーションし、6月のシカゴジャパンフェスティバルで沖縄の文化芸能を披露し注目を集め、ウチナーネットワークが盛り上がりを見せている。



ハイレベルなエイサー指導の様子



緊張感たかまる本番直前の楽屋



イベントの様子



次世代への継承を目指す
県会所属の祭りエイサー太鼓グループ

9) 会場

Glenview Park District - Park Center
2400 Chestnut Ave, Glenview, IL 60026



会場ホール外観



ホール室内の様子



イベント本番となる会場のステージに立つ



出演者も多いため席のレイアウトにも一工夫



稽古やりハーサルで使用したマタイ教会ホール



プレ公演会場のシカゴ双葉会日本語学校入口

1-4 事業概要その3 カナダ・バンクーバー

- 1) 派遣先： バンクーバー沖縄県友愛会
- 2) イベント名： 2019 NEW YEAR PARTY/新年会
- 3) 日時： 2019年2月23日(土)16：00～21：30
- 4) 場所： カナダ ブリティッシュコロンビア州バンクーバー市
- 5) 指導内容： 三線、舞踊
- 6) 指導者： 亀井美音(三線・琉球舞踊アドバイス)、
岩崎カナ(「ダイナミック琉球」ダンス)
- 7) 派遣期間： 平成31年2月12日(火)-2月25日(月)
- 8) 県人会概要：
1975年設立。現会長はThomas Okuma氏。
亀井美音氏がバンクーバーに滞在していた折に、三線を指導したこと から三線サークルを結成し、活動を続けている。次世代の若者が沖縄の 文化芸術の魅力を通して、ウチナーネットワークに関心を持つよう取り組んでいる。2019年10月の世界のウチナーンチュの日のイベントに向け、まずは新年会で機運を 盛り上げようと計画している。



三線指導と琉球舞踊を立ち合いで助言する様子



マミドーマ姿で準備万端



大賑わいのイベントの様子



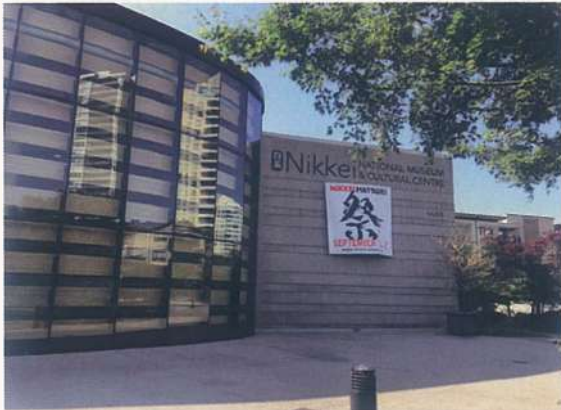
県系人キッズ初めての琉球ダンスに挑戦

9) 会場

日系文化センター

Nikkei National Museum & Cultural Centre

6688 Southoaks Crescent, Burnaby, BC V5E 4M7



会場となるホール日系文化センターの外観



ホール室内の様子



日系文化センター館内には
移民の歴史にまつわる貴重な展示も



会場設営も皆んなで手作り



3つの部屋をぶち抜いて使用した
座席のレイアウト



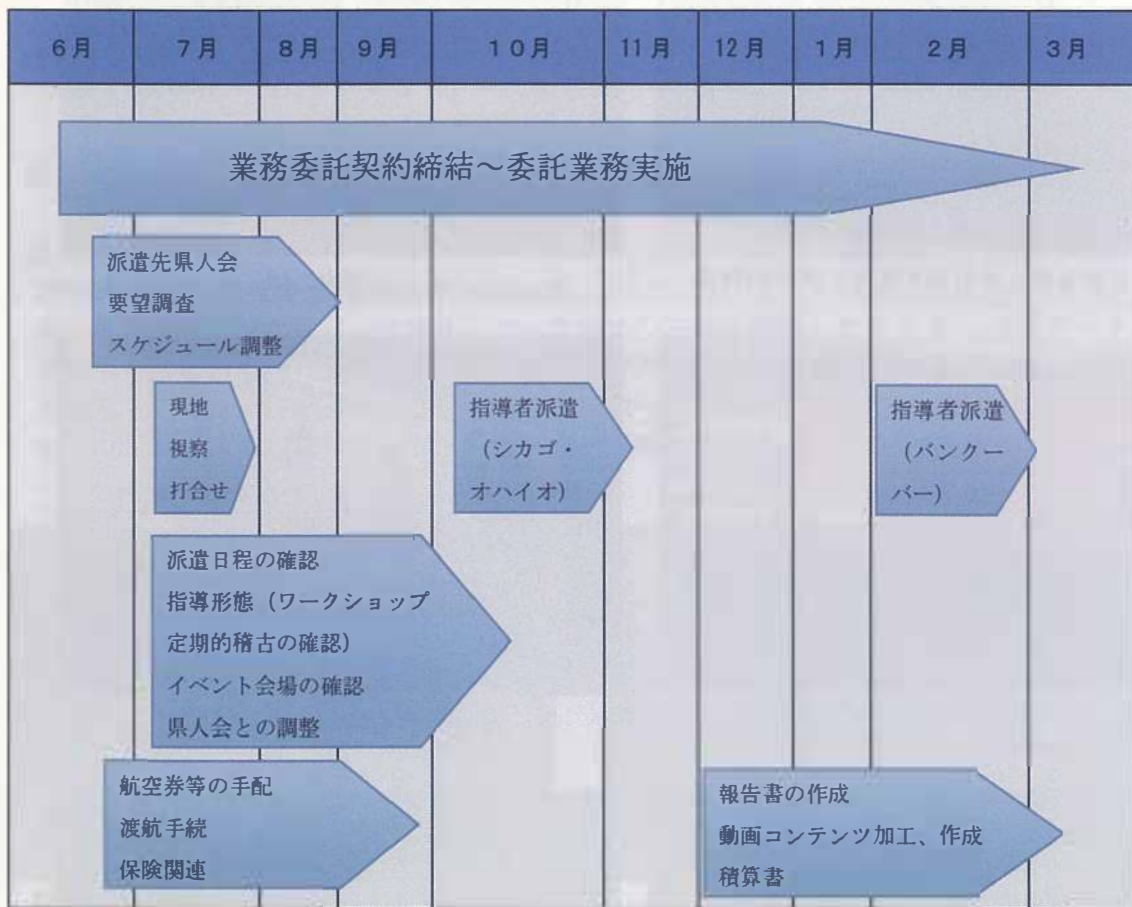
カナダの大自然の中に灯る日系文化の明かり
雪化粧が会場を飾る

1-5 事業実施スケジュール

仕様書に基づく派遣先県人会を設定の上、企画コンペを行った。これと並行して派遣先期間や海外県人会へ要望調査を行い、派遣先スケジュール、指導形態を含めた専門家の選定をおこなった。

契約締結後、事業を円滑に進めるため、指導者を派遣する前に、事前調整のため、現地視察を実施することとした。

県人会との連絡手段は主に電話、メール等を活用し調整を行った。派遣先が決定した後は概ねスケジュールに沿って実施した。



第2章 行程詳細

ツアーの始まり「オハイオ」での歓迎



オハイオ公演での出演者記念撮影



シカゴ公演で次世代メンバーと記念撮影



バンクーバー公演での出演者記念撮影



2-1 事前現地確認

1) 全体スケジュール

事前の現地確認を2018年7月23日から7月30日までの日程で行い、県人会と細部を打ち合わせるとともに、会場の下見を行った。主なスケジュールは以下の通りである。

■2018年芸能指導者派遣事業事前調整スケジュール

	日付	発地/滞在地	時間	スケジュール
1	7月23日(月)	那覇発	18:10	那覇発、全日空474便にて空路、羽田へ向け出発
		羽田着	20:35	羽田着 (国際線ターミナルへ移動)
		羽田発	21:50	羽田発、全日空116便にて空路、バンクーバーへ向け出発
		バンクーバー着	14:45	バンクーバー着
				県人会との打合せ
2	7月24日(火)	バンクーバー市	10:00	バンクーバー沖縄県友愛会訪問 本番会場、練習会場視察
3	7月25日(水)	バンクーバー発	11:10	バンクーバー発UA246便にて空路シカゴへ向け出発
		シカゴ着	17:07	シカゴ着(乗り継ぎ)
		シカゴ発	17:55	シカゴ発UA3613便にて空路コロンバスへ向け出発
		コロンバス着	20:24	コロンバス着
4	7月26日(木)	コロンバス市	10:00	オハイオ州沖縄友の会訪問、会場下見等 県人会との打合せ
5	7月27日(金)	コロンバス発	10:56	コロンバス発UA5320便にて空路シカゴへ向け出発
		シカゴ着	11:12	シカゴ着
				シカゴ双葉会日本人学校、会場視察
6	7月28日(土)	シカゴ市	9:00	シカゴ沖縄県人会ピクニック Robinson Woods 野外公園視察予定
7	7月29日(日)	シカゴ発	12:45	シカゴ発UA881便にて空路成田へ向け出発
8	7月30日(月)	成田着	15:55	成田着
		成田発	17:55	成田発UA7972便にて空路那覇へ向け出発
		那覇着	20:45	那覇着

2) 現地確認の様子

バンクーバー、オハイオ、シカゴにおける打ち合わせや会場下見の様子を以下に示す。

①バンクーバー (7/23～7/25)



バンクーバー会場の下見



バンクーバー沖縄県友愛会との意見交換会

②オハイオ (7/25～7/27)



オハイオ州沖縄友の会とのミーティング



オハイオの皆様の諸見里エイサー披露

③シカゴ (7/27～7/29)



シカゴ双葉会日本語学校の視察



シカゴ沖縄県人会との意見交換会

2-2-1 オハイオ旅行行程（10月20日～10月29日）

オハイオへの沖縄文化芸能指導者派遣の全体スケジュールは以下の通りである。

■オハイオ州沖縄友の会派遣スケジュール

	日付	発地/滞在地	発時間	着時間	スケジュール
1	10/20 (土)				舘見里青年会(花城、砂川、伊禮)オハイオ入り
		那覇～成田	11:35	14:15	那覇発、AA9046便にて空路、成田へ
		成田	17:55		成田発、AA154便にて空路、シカゴへ向け出発
		シカゴ		15:40	乗り継ぎ ー一日付変更線ー
		シカゴ～コロンバス	18:40	21:00	シカゴ発、AA3785便にて空路、コロンバスへ
		到着後		県人会との打合せ	
2	10/21 (日)	コロンバス市内	10:00	12:00	県人会スタッフとの顔合わせ
			13:00	16:00	エイサー指導等
			16:30	18:00	衣装の着付け指導等
3	10/22(月)	オハイオ州内	終日		本番会場等の視察、オハイオ州内視察、県人会スタッフとの打合せ等
4	10/23 (火)				平田コーディネーターオハイオ入り
		那覇～成田	11:35	14:15	那覇発、AA9046便にて空路、成田へ
		成田	17:55		成田発、AA154便にて空路、シカゴへ向け出発
		シカゴ		15:40	乗り継ぎ ー一日付変更線ー
		シカゴ～コロンバス	18:40	21:00	シカゴ発、AA3785便にて空路、コロンバスへ
		オハイオ州内	午前中		本番会場視察、オハイオ州内視察、県人会スタッフとの打合せ等
		コロンバス市内	16:30	20:00	エイサー指導及び衣装の着付け指導等
		"	20:00	21:00	平田コーディネーター迎え・合流
"	到着後		県人会スタッフとの打合せ		
5	10/24 (水)	コロンバス市内	午前中		県人会スタッフとの打合せ
		"	18:30	21:00	エイサー指導
6	10/25 (木)	コロンバス市内	9:00	9:30	高校訪問 ワークショップ(沖縄文化紹介&沖縄プロモーション)
		"	14:00	14:30	小学校訪問 ワークショップ(沖縄文化紹介&沖縄プロモーション)
		"			県人会スタッフとの打合せ
7	10/26 (金)	コロンバス市内	午前中		県人会スタッフとの打合せ
		"	16:00	21:00	イベントリハーサル及び会場準備@Capital City Church
8	10/27 (土)	コロンバス市内	9:00		イベントリハーサル及び会場準備@Capital City Church
		"	13:00	15:00	2018年度「世界のウチナーンチュの日」記念式典
9	10/28 (日)				舘見里青年会帰国、平田コーディネーターシカゴへ移動
		コロンバス～シカゴ	10:23	10:47	コロンバス発、AA3534便にて空路、シカゴへ向け出発
		シカゴ	11:55		シカゴ発、AA153便にて空路、成田へ
					ー一日付変更線ー
10	10/29 (月)				舘見里青年会日本着
		成田	15:15		成田着
					入国審査、通関手続き、搭乗手続き
		成田～那覇	19:00	22:25	成田発、AA9053便にて、那覇へ向け出発
		22:25			那覇空港着、荷物受け取り

2-2-2 指導実施概要

米国・オハイオ州コロンバス市／オハイオ州沖縄友の会

1) 実施概要

オハイオ州沖縄友の会が世界のウチナーンチュの日を祝うイベントを10月27日（土）に開催するのに合わせて、以下のとおり芸能指導者を派遣し、エイサーの指導を行い、現地でのワークショップやイベントへの出演などを行った。

①諸見里青年会 花城 悠（会長）、砂川 広平、伊禮 廉太
派遣期間：平成30年10月20日（土）～29日（月）

②総合コーディネーター 平田 大一
派遣期間：平成30年10月23日（火）～28日（日）

2) 指導の様子

先に現地入りした諸見里青年会はオハイオ州沖縄友の会のエイサーメンバーへの指導、衣装の着付け指導を行った。平田コーディネーターは次世代の育成を目的に、子ども達への指導へ力を入れた。



熱が入るエイサーの指導
諸見里青年会からの直接指導は悲願でした



手順を教えながらの着付けの指導
青年達に着付けて貰いちょっと照れ気味



諸見里のエイサースピリッツが炸裂した
リハーサル風景



次世代ワークショップの様子
沖縄文化をユーモアたっぷりに伝えていきます

3) ワークショップ等の実施状況

①高校訪問&公演

学校名：Fort Hays Arts and Academic High School（生徒数：1,200人）

日 時：平成30年10月25日（木）9：00～9：30

観覧者：300人（9年生～12年生）

演舞者：平田大一、諸見里青年会(3)、オハイオ州沖縄友の会(9) 計13人

②小学校訪問&公演

学校名：Fairborn Primary School（生徒数：1,600人）※オハイオ州で一番大きな小学校

日 時：平成30年10月25日（木）14：00～14：30

観覧者：300人（幼稚園～3年生）※現地の教育長や教育委員会広報担当も観覧

演舞者：平田大一、諸見里青年会(3)、オハイオ州沖縄友の会(9) 計13人



初めて見る沖縄文化に
興味津々の高校生達



オハイオ州最大の小学校で沖縄文化を披露
生徒も先生もみんな沖縄サウンド大好き



学校公演出演者とスタッフ



小学校では通路で着替えて支度しました



迫力あるエイサー太鼓の音が会場に響く！



高校の会場となった素敵なホールの外観

4) イベント（世界のウチナーンチュの日関連）の実施状況

- ①イベント名：2018年度世界のウチナーンチュの日記念式典
- ②主催者：オハイオ州沖縄友の会
- ③来場者：260名（オハイオ州沖縄友の会関係者、近隣の県人会関係者など）
- ④演舞者：41名
- ⑤プログラム：

1. 開会のあいさつ オハイオ州沖縄友の会会長 June McVey
2. 来賓紹介 MC：John Volkmar & Karl Kortlandt
3. 来賓祝辞 ①デトロイト日本総領事 和田充広 （代読）June McVey
②沖縄県知事 玉城デニー
（代読） 沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 主任 仲村美幸
4. 「世界のウチナーンチュの日」プロモーション動画
5. 「世界のウチナーンチュの日」設立の背景 MC:John Volkmar & Tomoko Welde

記念演舞

1. かぎやで風 阿波連本流啓扇和の会
2. 祝い節 阿波連本流啓扇和の会
3. 友の会子供エイサー
4. 涙そうそう フラググループ マハロ
5. 豊年音頭・沖縄(ウチナー) 友の会三線グループ演奏
6. 平田大一 ソロパフォーマンス横笛・太鼓 「キムタカ」 「ダイナミック琉球」
7. 感謝状贈呈
8. チャレンジ企画 「平田大一と踊ろう♪ミルクナムリ」
9. 海の声 琉球国祭り太鼓・マハロ
10. シンカヌチャー 平田大一・琉球国祭り太鼓・マハロ
11. 伝統エイサー 沖縄市諸見里青年会エイサー 花城悠、砂川広平、伊禮廉太
オハイオ州沖縄友の会 諸見里エイサー
12. カチャーシー



幕開けのかぎやで風を優雅に



次世代による子どもエイサーの披露



地元創作エイサーと友情出演のフラの共演



平田氏の会場を巻込んだ即興ミルクムナリ



諸見里青年会との練習の成果を堂々と披露



フィナーレは会場一体のカチャーシー！

2-2-4 指導者帰国後の所感

諸見里青年会 花城 悠

平成30年度沖縄文化芸能指導者派遣事業でオハイオ州へ自分達諸見里青年会のメンバーが派遣指導者に選定されたことはとても嬉しく、誇らしく思っています。

派遣事業にて、オハイオ州沖縄友の会の皆さんにはとても温かく迎えて頂き、ホームステイ先、滞在期間の食事など、色々と用意して下さりとてもお世話になりました。滞在期間中はオハイオ州沖縄友の会の皆さんと一緒に視察や、エイサー練習などをしていき、その中で言葉の壁や異文化の共存が感じられました。練習ではオハイオ州沖縄友の会の皆さんはとても積極的で、学ぼうという意識がとても強く感じられました。

現地の方からの話しでは、主体としてオハイオ州沖縄友の会を運営している方々が段々と高齢になっているため二世、三世にこのウチナンチュの気持ちを背負って頑張ってもらいたいと話されていたのが印象的です。

世界のウチナンチュの日の式典では色々な演し物があり、自分達はオハイオ州沖縄友の会の皆さんと演舞させて頂き、最後には会場の皆さんとカチャーシーで盛り上がり、無事成功することができ嬉しく思いました。

■課題

・世界のウチナンチュの日式典の準備の際に、音響や必要物品などの調整が細かく必要であると感じた。

諸見里青年会 砂川 広平

沖縄文化芸能指導者派遣事業でアメリカ、オハイオ州へ行きエイサーの指導を行いました。オハイオ州沖縄友の会の方々は20年程前から諸見里のエイサーをビデオで観て踊りの型を自分たちで練習をして、友の会のイベント行事などで参加者に披露していたそうです。私たちも踊りの指導をととてもスムーズに行う事が出来ました。世界のウチナンチュの日の式典にて演舞を披露しました。式の最後に出演者と来場者全員でカチャーシーを踊り、会場にいる皆さんが一つになり本イベントは大成功に終わる事が出来ました。

■改善点（式典リハーサル時に思った事です、）

- ・会場設営やリハーサルの指揮者がいない。
- ・会場でのマイク等、備品類の使用の許可を誰に聞けば良いのか不明。
- ・会場の音響担当が不在。

諸見里青年会 伊禮 廉太

アメリカオハイオ州にて、沖縄文化芸能指導者派遣事業で我々諸見里青年会が指導者となりオハイオ州沖縄友の会の方々にエイサーの指導をしてまいりました。

現地の方々は暖かく接してくださり、向上心、好奇心が強く感じられました。その為、「世界のウチナンチュの日」の式典では皆さん堂々と演舞を披露し、最後には会場の方々一体となりカチャーシーで締めくくりました。

■課題

- ・練習会場の広さ人数にあった広さの練習場。
- ・効率良くリハーサルを進めるために本番会場の全体な指揮官が重要である。
- ・言葉の壁や大雑把な面があるため、仲介役の方が必要。
- ・備品、音響の管理。

2-3-1 シカゴ旅行行程（10月25日～11月5日）

シカゴへの沖縄文化芸能指導者派遣の全体スケジュールは以下の通りである。

■シカゴ沖縄県人会派遣スケジュール

	日付	発地/滞在地	発時間	着時間	スケジュール
1	10/25 (木)				指導者(上江洲)、シカゴ入り
		那覇～成田	11:35	14:15	那覇発、AA9046便にて空路、成田へ
		成田	17:55		成田発、AA154便にて空路、シカゴへ向け出発
		シカゴ		18:00	シカゴ着
					――日付変更線――
			到着後		県人会スタッフとの打合せ
2	10/26 (金)	シカゴ市内	10:00		獅子舞演舞披露
		聖マタイ幼稚園	15:00		エイサー指導(大太鼓、締太鼓、パーランクー)指導
		〃	18:00		獅子舞指導
		〃	20:00		県人会スタッフとの打合せ
3	10/27 (土)	シカゴ市内	10:00	12:30	空手演舞確認(小林流・沖縄県人会)
		ジュルサレム	13:00	18:00	通しリハーサル(空手以外)
		〃	19:00	20:00	獅子舞指導
		〃	20:00		県人会スタッフとの打合せ
4	10/28 (日)				平田コーディネーターシカゴ入り
		コロナバス～シカゴ	10:23	10:47	コロナバス発、AA3534便にて空路、シカゴへ向け出発
		シカゴ市内	10:47		シカゴ到着
		聖マタイ幼稚園	13:00	14:30	次世代ワークショップ①(聖マタイ幼稚園)
		〃	14:30	15:30	交流会(聖マタイ幼稚園)
		〃	15:30	17:30	全体リハーサル
	〃	17:30	20:00	締太鼓、獅子舞の指導、三線・ウクレレ・ヴォーカル・バイオリン・琉舞の手直し等	
	〃	20:00		県人会スタッフとの打合せ	
5	10/29 (月)	聖マタイ幼稚園	10:45	12:00	次世代ワークショップ②(聖マタイ幼稚園)
		〃	12:00	14:00	交流会(聖マタイ幼稚園)
		〃	16:00	18:00	大太鼓、締太鼓指導
		〃	18:00		県人会スタッフとの打合せ
6	10/30 (火)	シカゴ市内	15:00	18:00	イベント会場下見
		〃	18:00		県人会スタッフとの打合せ
7	10/31 (水)	シカゴ市内	10:00	11:00	おでかけ公演会場下見
			12:00	15:00	次世代ワークショップ③(聖マタイ幼稚園)
		聖マタイ幼稚園	16:00	18:30	琉舞演舞指導
	〃	19:00	20:00	獅子舞指導	
8	11/1(木)	シカゴ市内	18:00	19:00	県人会との交流会
9	11/2 (金)	シカゴ市内	11:00	11:30	在シカゴ日本総領事館 表敬訪問
		〃	17:00	20:30	イベントリハーサル④双葉会
10	11/3 (土)				※イベント本番
		シカゴ市内	11:00		おでかけ公演会場入り
		〃	12:30	13:00	おでかけ公演⑤双葉会 日本医学校
		〃	14:00	15:00	意見交換会(シカゴ沖縄県人会他周辺地域の県人会役員の皆さまと)
	〃	17:30	19:30	イベント本番 "WORLD UCHINANCHU DAY IN CHICAGO"	
11	11/4 (日)				派遣関係者帰国
		シカゴ市内			県人会見送り 空港へ
					出国手続き、通関手続き、搭乗手続き
		シカゴ～	10:30		シカゴ発、JL9便にて空路、成田へ向け出発
	シカゴ～	10:30		シカゴ発、AA8404便にて空路、成田へ	
					――日付変更線――
12	11/5 (月)				派遣関係者日本着
		成田	15:00		成田着
					入国審査、通関手続き、搭乗手続き
		成田～那覇	19:00	22:25	成田発、JL6119便にて、那覇へ向け出発
		19:00	22:25	成田発、AA9053便にて、那覇へ向け出発	
			22:25		那覇空港着、荷物受け取り

2-3-2 指導実施概要

米国・イリノイ州シカゴ市／シカゴ沖縄県人会

1) 実施概要

シカゴ沖縄県人会が世界のウチナーンチュの日を祝うイベントを11月3日（土）に開催するのに合わせて、以下のとおり芸能指導者を派遣し、エイサー等の指導を行い、現地でのワークショップやイベントへの出演などを行った。

①龍神伝説 総長 上江洲 安秀

派遣期間：平成30年10月25日（木）～11月5日（月）

②総合コーディネーター 平田 大一

派遣期間：平成30年10月28日（日）～11月5日（月）

2) 指導の様子

10月25日（木）に先に現地入りした上江洲安秀により、エイサー、パーランクー、旗、琉球舞踊、獅子舞などの指導が開始され、28日（日）に平田コーディネーターが合流し、合同での指導が行われた。



サウンドに合わせた演舞の指導



復活させた県人会の獅子も大活躍



キッズエイサーも真剣に



初心者が多く
更なるレベルアップを目標に頑張る三線チーム

①次世代ワークショップ

学校名：聖マタイ幼稚園

日時：①平成30年10月28日（日）13：00～14：30（80名）

②平成30年10月29日（月）10：45～12：00（40名）

③平成30年10月31日（水）12：00～15：00（30名）

参加者：延べ150人

対象：シカゴ沖縄県人会の子ども達及び保護者、ちむどんどんメンバー及び保護者、
聖マタイ幼稚園児及び職員

講師：平田 大一

サポート：上江洲 安秀



大勢が参加した次世代ワークショップ



自己紹介を兼ねた上江洲、平田の競演



大人向けワークショップでは意見交換も



講師の演舞に見入る子どもたち



県人会の子ども達や幅広い世代が出席した



未来の沖縄芸能を担うウチナー未来っ子!?

②おでかけ公演

学校名：双葉会日本語学校（補習校）

日時：平成30年11月3日（土）12：30～13：00 観覧者：800人

出演者：平田 大一、上江洲 安秀、シカゴ沖縄県人会、ちむどんどん 計52名



リハーサルから本気モードの指導者二人の競演



保護者を中心とした三線愛好家グループ



空手の演舞披露



獅子舞に場内大歓声



友達の前での演技はちょっと緊張気味



会場での場当たりも入念に

4) イベント（世界のウチナーンチュの日関連）の実施状況

①イベント名：WORLD UCHINANCHU DAY CELEBRATION in CHICAGO

世界のウチナーンチュの日記念イベント ～結伝 (yuiden) ～
つながろう 伝えよう 島心

②主催者：シカゴ沖縄県人会

③来場者：214名（オハイオ州沖縄友の会関係者、近隣の県人会関係者など）

④演舞者：平田 大一、上江洲 安秀、シカゴ沖縄県人会（25）ちむどんどん（61）計86名

⑤プログラム：

オープニングセレモニー

1. 主催者挨拶 シカゴ沖縄県人会会長 Paula Schmidling
2. 祝辞① 在シカゴ日本国総領事 伊藤 直樹
3. 祝辞② 沖縄県知事 玉城 デニー
代読：沖縄県文化観光スポーツ部文化スポーツ統括監 山城 貴子
4. 祝辞③ アルタック社 アークテクノロジー社 名誉会長 壁下 新
5. 特別ゲスト紹介
 - ・在シカゴ総領事館広報 佐野 裕太
 - ・シカゴ日本人会会長 吉池 学
 - ・シカゴ日本商工会議所事務局長 三谷 哲郎
 - ・シカゴ双葉会日本語学校補習校校長 島袋 克
 - ・シカゴ新報社長 浦山 美子
 - ・聖マタイルーテル教会牧師 Leonardo Epple

記念演舞

1. かぎやで風
2. 空手
3. エイサー The drumming
4. 海の声
5. 平田大一 Daiichi Hirata world
6. 平田大一とエイサー ダイナミック琉球
7. 京太郎御知行
8. 京太郎獅子舞 精神
9. 獅子舞
10. 全員エイサー シンカヌチャー
11. 感謝状贈呈
12. 唐船ドローイ
13. 閉会



幕開けを彩る三線斉唱



首里城幕を背景にかぎやで風を舞う



空手の披露



三線と歌と琉球舞踊の見事なコラボに感動



会場を一つにする一生懸命な子どもたちの演舞



上江洲氏の指導で蘇った二頭の獅子も躍動する



大盛り上がりのフィナーレ



出演者で笑顔の記念撮影

4) イベント (世界のウチナーンチュの日関連) の実施状況

① イベント名: WORLD UCHINANCHU DAY CELEBRATION in CHICAGO

世界のウチナーンチュの日記念イベント ～結伝 (yuiden) ～
つながろう 伝えよう 島心

② 主催者: シカゴ沖縄県人会

③ 来場者: 214名 (オハイオ州沖縄友の会関係者、近隣の県人会関係者など)

④ 演舞者: 平田 大一、上江洲 安秀、シカゴ沖縄県人会 (25) ちむどんどん (61) 計86名

⑤ プログラム:

オープニングセレモニー

1. 主催者挨拶 シカゴ沖縄県人会会長 Paula Schmidling
2. 祝辞① 在シカゴ日本国総領事 伊藤 直樹
3. 祝辞② 沖縄県知事 玉城 デニー
代読: 沖縄県文化観光スポーツ部文化スポーツ統括監 山城 貴子
4. 祝辞③ アルタック社 アークテクノロジー社 名誉会長 壁下 新
5. 特別ゲスト紹介
 - ・在シカゴ総領事館広報 佐野 裕太
 - ・シカゴ日本人会会長 吉池 学
 - ・シカゴ日本商工会議所事務局長 三谷 哲郎
 - ・シカゴ双葉会日本語学校補習校校長 島袋 克
 - ・シカゴ新報社長 浦山 美子
 - ・聖マタイルーテル教会牧師 Leonardo Epple

記念演舞

1. かぎやで風
2. 空手
3. エイサー The drumming
4. 海の声
5. 平田大一 Daiichi Hirata world
6. 平田大一とエイサー ダイナミック琉球
7. 京太郎御知行
8. 京太郎獅子舞 精神
9. 獅子舞
10. 全員エイサー シンカヌチャー
11. 感謝状贈呈
12. 唐船ドーイ
13. 閉会



幕開けを彩る三線斉唱



首里城幕を背景にかぎやで風を舞う



空手の披露



三線と歌と琉球舞踊の見事なコラボに感動



会場を一つにする一生懸命な子どもたちの演舞



上江洲氏の指導で蘇った二頭の獅子も躍動する



大盛り上がりのフィナーレ



出演者で笑顔の記念撮影

5) その他

①在シカゴ日本総領事館 表敬訪問

日 時：平成30年11月2日（金）11：00～11：30

対応者：在シカゴ日本総領事 伊藤 直樹

表敬者：文化スポーツ統括監 山城 貴子、交流推進課 主任 仲村 美幸
総合コーディネーター 平田 大一、芸能指導者 上江洲 安秀

同行者：シカゴ沖縄県人会 ニコラス郁子（ウチナー民間大使）、八巻希、リンダ 安里



伊藤総領事を囲み和やかに懇談



表敬の記念撮影

②意見交換会

日 時：平成30年11月3日（土）14：00～15：00

場 所：シカゴ市内（Papagalino）

参加者：シカゴ沖縄県人会長他役員（7名）、ミシガン沖縄県人会長、
オハイオ州沖縄友の会長他（2名）

説明者：山城統括監、仲村（交流推進課）

内 容：

○沖縄県からの説明

- ・世界のウチナーネットワーク強化推進事業について
- ・次年度の沖縄芸能指導者派遣事業について

○参加者からの意見等

- ・文化芸能等を通して、県系人に限らない繋がりを広げるということであれば、世界のウチナーネットワークではなく、「ワールドウチナアンチチャンプルーネットワーク」という名称にしたらどうか？
- ・WUDのHPについて、県人会情報の登録がしにくい（途中保存できない、上手くプリントアウトできない等）。使いやすいフォームの検討をして欲しい。
- ・民間大使の任命、活用について
 - 活動していない民間大使は今後どうなるのか？県人会に関わらない人もいるのが課題。
 - 民間大使が多すぎる。民間大使に任期を設けて、リフレッシュさせるのはどうか。年齢を重ねて活動が難しくなっている人もいるのではないか。
- ・（次年度の芸能派遣事業について）周辺の県人会との共同プロジェクトとして応募する事は可能か？

2-2-4 指導者帰国後の所感

龍神伝説 上江洲 安秀

はじめに文化芸能指導者派遣事業を通して、シカゴ沖縄県人会、チームちむどんどんと共に沖縄の文化芸能の素晴らしさを改めて実感する事が出来た事を、沖縄県庁職員の皆様とそのご関係者様、受入れを快く受けて頂いたシカゴ沖縄県人会様に感謝申し上げます。

初めてシカゴを訪れたのは、昨年3月。

シカゴのエイサーチーム、チームちむどんどの代表八巻みのりさんとの出会いがあり、シカゴに足を踏み入れた。すぐに子供達の演技披露会を行い、これからこの子供達を指導出来る喜びと、その本場のエイサーを教えてくれる！という期待を込めたキラキラする眼差しに癒えられる指導が出来るのかという不安が入り混じった中からスタートを切った。たった4日間という短い期間の中で子供達は成長し、その子供達の成長を周りの保護者が感じ、保護者の中でも「琉球芸能をしてみたい」と希望者が現れ、県人会の方々も、あの子供達は沖縄出身ではないが、心の中では「ウチナーンチュ」だよねと、希望する保護者にも快く三線など伝授していった。

6月に行われたシカゴジャパンフェスタでは、沖縄をテーマとして物販コーナーや各ステージでもショーを行い、メイン会場では客席とステージ横を埋め尽くす観客で、出演者も感動のプログラムとなった。

11月のウチナーンチュの日は、そのジャパンフェスタをきっかけにシカゴ沖縄県人会が中心となり琉球舞踊、三線、空手、エイサー、獅子舞など練習を行い、技術の向上と同時に県人会のメンバーにも故郷の文化を継承するスピリッツが更に熱く燃え上がり、初めてシカゴを訪れた8ヶ月とは顔付きもプロ並みに仕上がった。

ウチナーンチュの日inシカゴ、メインプログラムの「結伝」では曲毎にMCを入れず、曲と曲の間にステージ内を展開させるプログラムに仕立て、「結伝」を観て琉球芸能をほぼ堪能出来る内容となり、カチャーシーで会場が一つになった。口々に飛び交う、「沖縄に行こう」「沖縄で会おう」「故郷の芸能をもっと大切にしていこう」文化芸能指導者派遣事業の中で目指す、ウチナーンチュとしての心、そしてウチナーンチュではないウチナーンチュがもつ心が一つになり成功の鍵となった。

また、これから先もずっとシカゴ沖縄の文化芸能が絶えることなく続いていく事と、出会えた縁をキッカケにこれからも同じウチナーンチュとして支えていきたい。

2-4-1 バンクーバー旅行行程（2月12日～2月25日）

バンクーバーへの沖縄文化芸能指導者派遣の全体スケジュールは以下の通りである。

■バンクーバー沖縄県友愛会派遣スケジュール

	日付	発地/滞在地	発時間	着時間	スケジュール	
1	2/12 (火)				指導者(亀井、岩崎)バンクーバー入り	
		那覇～成田	12:30	14:55	那覇発、JL6122便にて空路、成田へ	
		成田	18:40		成田発、JL0018便にて空路、バンクーバーへ	
					---日付変更線---	
		バンクーバー		10:35	バンクーバー到着、入国審査～県人会迎え	
2	2/13 (水)	バンクーバー		13:30	朝田副会長よりブリーフィング後、ホームステイ先ノースバンクーバーへ向け出発	
					県人会役員及び芸能関係者と打合せ	
				16:00	18:00	県人会宅にて稽古 踊り・三線
				13:30		県人会役員及び芸能関係者と顔合わせ及び打ち合わせ
3	2/14 (木)	バンクーバー		17:30	イベント会場、練習会場、下見	
				19:00	21:00	県人会宅にて稽古 踊り・三線
4	2/15 (金)	バンクーバー		15:00	県人会役員及び芸能関係者と打合	
				17:00		県人会宅にて稽古 踊り・三線
5	2/16 (土)	バンクーバー		19:00	22:00	日系人合同教会にて合同稽古
				19:00	22:00	県人会宅にて稽古 踊り・三線
6	2/17 (日)	バンクーバー		11:00	13:00	県人会スタッフとの打合せ
				17:00	19:00	日系人合同教会にて合同稽古 踊り・三線衣装合わせ
7	2/18 (月)	バンクーバー		終日		バンクーバー市内視察
				20:00	22:00	バンクーバー沖縄太鼓への練習参加
8	2/19 (火)	バンクーバー		11:00	13:00	県人会スタッフとの打合せ
				19:00	21:00	日系人合同教会にて合同稽古
9	2/20 (水)				平田コーディネーター、県職員 バンクーバー入り	
		那覇～成田	12:30	14:55	那覇発、JL6122便にて空路、成田へ	
		成田	18:40		成田発、JL0018便にて空路、バンクーバーへ	
					---日付変更線---	
				10:35	バンクーバー到着、入国審査～県人会迎え	
10	2/21 (木)	バンクーバー		19:00	21:00	日系文化センターにてリハーサルを兼ねた合同稽古
				11:00	13:00	県人会スタッフ打合せ
				17:00	19:00	日系文化センターにてリハーサルを兼ねた合同稽古 踊り・三線
				19:00	20:00	日系文化センターにてワークショップ
11	2/22 (金)	バンクーバー		20:30	22:00	県人会・スタッフとの交流会
				19:00		日系文化センターにてリハーサルも兼ねた合同稽古
12	2/23 (土)	バンクーバー		21:30		会場セッティング
				11:00	14:00	指導者、県担当者会場入り、リハーサル、音響確認等
				15:00		開場
				16:00	21:30	主催/バンクーバー沖縄県友愛会 イベント開催名2019 NEW YEAR PARTY/新年会
13	2/24 (日)				場所:Nikkei National Museum & Cultural Centre	
					指導者(亀井、岩崎)、平田コーディネーター、県職員帰国	
		バンクーバー	10:30	11:30	出国手続、通関手続、搭乗手続	
14	2/25 (月)				バンクーバー発、JL0018便にて空路、成田へ向け出発	
					---日付変更線---	
		成田		16:30	成田着	
		成田～那覇	19:00	22:25	成田発、JL6119便にて空路、那覇へ向け出発	

2-4-2 指導実施概要

カナダ・ブリティッシュコロンビア州バンクーバー／バンクーバー沖縄県友愛会

1) 実施概要

カナダ、バンクーバー沖縄県友愛会が開催する毎年恒例の行事「新年会」において、世界のウチナーンチュの日を祝うイベントも兼ねた特別企画を催すにあたり、以下のとおり芸能指導者を派遣し、三線演奏の向上と八重山舞踊マミドーマの指導、また次世代対象の琉球ダンスの指導を行い、現地のワークショップ開講やイベントへの出演などを行った。

①亀井美音、岩崎カンナ 派遣期間: 平成31年2月12日(火)～25日(月)

②総合コーディネーター 平田大一 派遣期間: 平成31年2月20日(水)～25日(月)

2) 指導の様子

先に現地入りした亀井美音、岩崎カンナの2人の指導により役割分担をしながら、ホームステイ宅、日系合同教会を会場にほぼ毎日のように三線と舞踊の練習が開かれた。平田コーディネーターが合流後は当日会場の日系文化センターに会場を移し、本番に即した練習に切り替え、また幅広い世代に向けた母県沖縄での文化的取り組みの事例紹介ワークショップも開催し、本事業の動機付けや県人会活動の更なる発展に寄与するアドバイスを行った。

①練習(合計12回実施)

*ホームステイ宅/4回 (2/12、13、14、15) 4人～5人の小単位での稽古

*日系合同教会 /3回 (2/14、16、19) 20人～25人の踊りと三線の合同稽古

*エイサーチーム「バンクーバー沖縄太鼓」の稽古場にて練習視察と合同演舞の打ち合わせ/1回(2/18)

*日系文化センター/4回(2/20、21、21、22) 30人程の踊りと三線、本番会場を使った場当たりやりハرسالも兼ねた合同稽古及び、平田氏による座学のワークショップ(21日に同会館の別室にて)を開催



キッズ向けの琉球ダンス指導



幕開け舞踊の所作の確認



三線演奏に多くの方が挑戦



八重山の民俗舞踊マミドーマを踊る



衣装合わせをしながら
子ども達のヤル気も盛り上げます



真剣な表情で琉球舞踊を舞うメンバー

②ワークショップの実施

「総合コーディネーター平田大一の沖縄ちむドン文化講座」開催は1回

場所：日系文化センター講座室

日時：2月21日19時～20時／約60分

参加者：子ども達～高齢者の約30人程度が参加。

内容：映像等を使って沖縄で行われている「地域おこし、人財育成」の成功事例を3つ紹介。好評を戴き、新年会当日の昼食の時間にも同様のプレゼンタイムを再度開催。いずれも母県沖縄のアイデンティティや文化に根差したユニーク且つ感動する先行事例として励まされたと多くのコメントを寄せていただいた。



映像を使って分かりやすく活動事例を紹介する



熱心に講話に聞き入る参加者達

3) イベント

①イベント名：2019 NEW YEAR PARTY／新年会

②主催者：バンクーバー沖縄県友愛会

③来場者：150名（バンクーバー沖縄県友愛会関係者、近隣の県人会関係者など）

④演舞者：平田大、亀井美音、岩崎カンナ、バンクーバー沖縄太鼓、バンクーバー沖縄県友愛会37名（合計40名）

⑤ プログラム



VANCOUVER OKINAWA-KEN YUAIKAI / パンクーバー沖縄県友愛会 2019 NEW YEAR PARTY / 新年会

MC's for The Evening: Thomas Okuma, Hiro Tsujimoto, Howard Lam, Akira Miyagi

1. **GREETING FROM PRESIDENT:** Thomas Okuma
2. **CONGRATULATORY MESSAGE:** Governor of Okinawa Prefecture Mr. Denny Tamaki
read by Akiko McCall
3. **TOAST:** Kenyu Nakadomari
4. **MAKUAKE - KAJADI-FU & IWAI-BUSHI / 暮開け かぎやで風、祝い節**
Dancer : Fumiko Oyama, Asuka Kusano Drum : Mion Kamei
Sanshin: Thomas Okuma, Hugh Kamizato, Taigi Maeda, Maki Tsujimoto, Hinata Asada
Naoki Hirano, Ryoko Milling, Maya Milling, Marina Watabe
5. **DINNER**
6. **Background of Establishment of "World Uchinanchu Day" & Promotion Video**
Okinawa Prefecture Government, Akiko McCall
7. **YOTSUTAKE / 四つ竹**
Dancer : Mion Kamei Drum : Gina Asato
Sanshin: Hugh Kamizato, Taigi Maeda, Maki Tsujimoto, Hinata Asada
Naoki Hirano, Ryoko Milling, Maya Milling, Marina Watabe
8. **HAMACHIDORI / 浜千鳥**
Dancer : Fumiko Oyama, Sachiko Tsujimoto, Joyce Kusano, Misako Miyagi, Miyuki Kamisato,
Masami Hanashiro, Naoko Tsukayama, Haruhi Asada
9. **SPECIAL PERFORMANCE: YUMENO-KODOU / 夢の鼓動** Kanna Iwasaki
10. **PAPER AIRPLANE THROWING CONTEST**
11. **UMINO-KOE SHINKANUCHA / 海の声、シンカヌチャー**
Vancouver Okinawa Taiko: Masami Hanashiro, Shawn Nakamoto, Hiroko Asada, Makiko Tsujimoto, Hinata Asada,
Haruhi Asada, Kyoka Yamakawa, Maya Milling, Kyoko Tazumi, Ana Nakama
12. **SPECIAL PERFORMANCE: Daiichi Hirata**
13. **HANDS-ON PERFORMANCE "Let's Dance with Daiichi Hirata" on "Mirukumunari"**
14. **CHICKEN DANCE / チキンダンス: All Children**
15. **TOONIE TOSS GAME**
16. **MAMIDOMA / マミドーマ**
Dancer : Kanna Iwasaki, Fumiko Oyama, Sachiko Tsujimoto, Joyce Kusano, Misako Miyagi, Miyuki Kamizato,
Asuka Kusano, Masami Hanashiro, Hiroko Asada, Naoko Tsukayama, Haruhi Asada
Sanshin: Mion Kamei, Makiko Tsujimoto, Hinata Asada & Sanshin Singers Drum : Daiichi Hirata
17. **SPECIAL PERFORMANCE: Mion Kamei**
18. **DOOR PRIZES & 50/50 TICKETS**
19. **APPRECIATION CERTIFICATE PRESENTATION**
20. **DYNAMIC RYUKYU / ダイナミック琉球**
Singer : Mion Kamei Instructor: Kanna Iwasaki Director : Daiichi Hirata
Dancer : Hinata Asada, Haruhi Asada, Teiya Lam, Maiya Lam, Noah Kayo
Keiju Tsujimoto, Juna Tsujimoto, Juno Tsujimoto, Mariana Masana
21. **KACHA-SHI / カチャーシー** Sanshin: Shotoku Asato Drum : Gina Asato
22. **CLOSING**

BOARD MEMBERS: Thomas Okuma, Hiro Tsujimoto, Ryuji Asada, Howard Lam, Yukari Okuma, Hugh Kamisato
Sachiko Tsujimoto, Akira Miyagi, Miyuki Kamisato, Joyce Kusano, Asuka Kusano, Misako Miyagi, Taigi Maeda, Makiko Tsujimoto



初挑戦！マミドーマを笑顔で踊る



指導員「亀井美音」さんの独唱



愛くるしい幼児による演技チキンダンス



幕開けの三線斉唱とかざやで風



新旧世代による息のあった古典舞踊浜千鳥



ポットラックと呼ばれる一品持ち寄り料理



指導員「岩崎カンナ」さん独演



フィナーレは出演者総出のダイナミック琉球

2-4-4 指導者 帰国後の所感

亀井美音

私にとって語学留学以来約3年ぶりにお会いするバンクーバー県人会の皆様は、2月の雪降る厳しい寒さに負けず変わらずとても暖かく迎えて下さいました。到着した日の晩の合同練習は積雪で中止になったものの、ステイ先の近所のメンバーが足を運んでくださり、「早速マミドーマの踊り方を教えてほしい！」と真剣な眼差しで練習に取り組んで下さいました。その後の合同練習日では、私達が練習場に到着した頃にはすでに三線隊が揃っており、私が留学時代に一緒に三線を弾いていたメンバーはもちろん、その後そのメンバーを中心に県人会で三線クラブを開き、さらに新しいメンバーが増えていたことを知り本当に驚き感動しました。

滞在していた約2週間、殆ど毎日練習日を設けておりましたが、学校やお仕事でそれぞれの生活があるにも関わらず、多くの県人の皆様が練習に参加して下さり、笑いが絶えず本当にあっという間でした。また、一日一日ぐんぐん吸収しパワーアップしていく姿に圧倒されることもありました。さらに、歌詞の意味や歌唱法、踊りの意味について、沖縄で育ち芸を学びすっかり馴染み深くなってしまった故に考えたこともないような質問をされることもあり私自身大変勉強になりました。練習を重ねるごとに私達と県人メンバー一団となって稽古に励んだこの2週間はとても有意義で遠く離れた地においても沖縄の文化を通じて一緒に熱くなれることを実感しました。

滞在から十日、演目も形になってきた頃、平田さんと県庁から儀間さん、マッコールさんが現地に到着されました。県人の皆さんも私も気が引き締まり、より一層真剣に取り組んでいきました。その中で、平田さんより沖縄での活動についてのワークショップがありました。小浜の元気なおばあちゃん達のお話や中高生達が演じる歴史の演劇そして黒木の苗100年プロジェクト、どれも面白い内容で小さな沖縄でこんなに色々な世代のウチナンチュが様々な方向で挑戦していることに県人の皆さんも驚き、そして「私達もこんなことやりたいさー」と喜んでいました。

そしてこのワークショップの締めには平田さんから「どこからウチナンチュだろう」というお話がありました。その時私が強く考えさせられたことは、今回の練習の際、県人会会員のみならず、他府県出身の方なども積極的に参加して下さいました。留学時代に知り合った方、今回初めてお会いした方とそれぞれおられました稽古時間が仕事終わりのぎりぎりであっても毎回三線を持ち込み、沖縄の文化に興味を持って参加して下さいるのは同じく文化を愛し芸を学ぶ身としてこの上ない喜びであり、もっと面白い音楽を共有したいという気持ちに駆られました。県人会の練習ということもあり端の方で遠慮がちに座っておられましたが全体手合わせの際、楽しそうにヘーシや三板を鳴らす姿を見た時は間違いなく県人会メンバーと同じように全体からウチナンチュの世界が広がっていました。

今回私は演目を仕上げることでいっぱいになってしまいましたが、今後の課題として一層芸を磨いていくことはもちろんですが、海外の皆さんと音楽や踊りを通じて、血筋だけでなく沖縄を愛する皆さんでつくる現地のウチナンチュの輪を、さらに豊かにしていくサポートができたと思います。また、移民から何十年と経ち、4世が誕生する時代に特にカナダのようなマルチカルチャーの移民国では、沖縄のアイデンティティを感じて欲しいと、お子さんと一緒に練習に参加されるご両親もおられました。もう殆ど日本語が分からない、けれどこんなに熱いルーツがあるんだと感じてもらえる手助けもしていきたいと思いました。この派遣によって広がった現地のウチナンチュの輪が、私たちが帰国後も続いていける為に、現地で技術を伝えることとそれ以外では何ができるだろう、ということをとっても考えさせられました。

この度バンクーバー沖縄県友愛会へ派遣して頂き、私は主にダンスの指導をさせて頂きました。新年会では主にマミドーマとダイナミック琉球の踊りの指導をし、1世の方、2世の方両方と多く触れ合うことができました。バンクーバー沖縄県友愛会は主に1世の方々に構成されており、50代-70代の方を中心に構成されているような印象を受けました。お互いに意見を交換し合いながら活動を進めている様子がよく見えました。

現地で大きく課題に感じたことは、友愛会の活動への若者の参加が乏しいことです。これは私が3年間関わっていたロサンゼルス沖縄県人会でも同じ課題がありました。友愛会のメンバーにお話をお伺いしたところ、現在定期的な友愛会のイベントなどはなく、新しいメンバーが参加する機会というのがあまりないような印象を受けました。現在主となって活動されているメンバーは引き継ぎをしたいと考えている方もいるようですが、若い20代、30代の力が不足しているため、実質難しいとのことでした。最近は少しずつ若い人向けのイベントの企画なども初めているようで、今度のダイナミック琉球では小学生-高校生の県系人も10人ほど参加してくれたので、彼らが友愛会の活動にこれからもっと参加してくれるとバンクーバーの沖縄コミュニティがさらに盛り上がるだろうなと思いました。

又、色々とお話をお伺いする中で、友愛会のメンバーが三線や琉球舞踊などの沖縄の文化・芸能を長期で指導してくれる人を欲しているということも分かってきました。現在友愛会では三線や舞踊の流派を受け継ぐ方がおらず、指導してくれる人がいれば定期的に集まって習いたいという話をしておられました。その真意には、これから先子供達に沖縄の文化を継承していきたいという思いもあるようです。

私が今回の派遣を通して感じたことは主に上記の内容ですが、今現在1世の方が主として動いている活動を2世、そしてその先の世代が加わっていくと、より新しい発想を取り込んだ友愛会の形が生まれるのではないかと思います。やはりその為には若い世代の参加が必要であり、今回の新年会での取り組み、特にダイナミック琉球で集まってくれた子供達を中心に更に多くの若い人が集まり、老若男女問わずみんなで力を合わせて沖縄コミュニティを発展させていくことが理想だと考えます。

そして、この事業の主旨の一つである、「2021年のウチナンチュ大会で再会しましょう」という呼びかけにおいては昨年度、今年度と派遣先に選ばれた世界の県人会(ロサンゼルス、サンパウロ、シカゴ、オハイオ、バンクーバー)が派遣時に習った演目などで一緒に共演できるようなアトラクションがあればより世界のウチナンチュの結束力が高まると思いました。そのために、今後もこの文化芸能指導者派遣事業を続けていき、さらに多くの世界のウチナンチュを巻き込んでいく必要があると強く思います。この事業で派遣された者も受け入れ先の県人会もこの事業を経て、強い結びつきを得ることができます。それは昨年度、今年度と派遣された当事者の私が一番強く実感していることです。なので是非今後もこの事業が続いていくことを心から願っております。世界のウチナンチュは沖縄からの派遣者との交流を強く心待ちにしています。

今回は貴重な体験をさせて頂き誠にありがとうございました。

第3章 メディア掲載事例

現地県人会向けの激励動画の撮影（シカゴ）



世界のウチナーンチュの日をPR（オハイオ）



奥間会長へ派遣団より贈答品の手交セレモニー（バンクーバー）



3-1 新聞

1) 沖縄タイムス 2018年10月30日

沖縄タイムス 2018年(平成30年)10月30日



米で催し 県人会交流
「ウチナンチュの日」

【クリッシー悦米園通 信員】10月30日の「世界のウチナンチュの日」に合わせ、米オハイオ州沖縄友の会(シユーン・マクベイ会長)は記念式典をコロンバス市内のキャピトル教会で開いた。写真、沖縄からは演出家の平田大一さんや、友の会と親交がある沖縄市の諸見里青年会エイサーのメンバーが特別出演し、会場や参加者を感激させた。

県人会の阿波連本流啓嗣和会メンバーは、「かぎやで風」などを披露。友の会の子どもエイサーでは、会員の孫たちによるかわいいパレードや友の会三總グループによる「豊年吉頭」の舞などが行われた。

ハイライトは、沖縄からの特別ゲストたちによる演舞。平田さんのリードで、オハイオ諸見里エイサーグループ、琉球園祭り太鼓オハイオ支部メンバーほか、会員の子どもたちも孫たちのグループ、会場からの飛び入りの観客も一緒に楽しんで、エイサーに挑戦した。

会長のマクベイさん(66)は「宮野浦市出身、旧姓名吉場和子」は、「平田さんの舞台も諸見里青年エイサーの演舞も素晴らしい。来年以降の会の活動にどうつながっていくか考えた」と話した。

2) 琉球新報 2018年11月12日

エイサー、琉舞で盛況
オハイオ友の会 沖縄の芸能団も



カチャーシーで催しを締めくくると参加者ら
10月27日、米オハイオ州

【アメリカ 米国のオハイオ州沖縄友の会(シユーン・マクベイ会長)は10月27日、「世界のウチナンチュの日」を祝うイベントを同州で開催した。沖縄県の沖縄文化芸能派遣事業で派遣された芸能関係者も参加。会場は大いに盛り上がり、舞を閉じた。

マクベイ会長が開会あいさつをした後、テトロイト日本総領事と玉城アニー県知事の祝辞が読み上げられた。県が制作した「世界のウチナンチュの日」のブローチやシヨビテオを鑑賞し、司会者が「世界のウチナンチュの日」制定の経緯を紹介した。

阿波連本流啓嗣和の会による「かぎやで風」で余興の舞が開けた。はつぴに青い鉢巻きをした10人の子どもたちがパレードを片手に元気一杯にエイサーを演舞し、会場からは「かわいい」の音が響いていた。

三總グループは「沖縄、ウチナー」な2曲を演奏。琉球祭り太鼓とララグループが沖縄からの参加者の歌に合わせて、「シンカヌチャ」で演舞した。沖縄からのエイサー指導者と友の会諸見里エイサーのメンバーは3人のゲストも加わり、勇壮な演舞を展開し、観客を魅了した。会場全体を巻き込んだカチャーシーで締めくくった。

マクベイ会長は「本場の手配から県との打ち合わせなど、四カ月間の準備期間にもかかわらず大変だったが成功してホッとしている」と話した。(鈴木多美子通信員)



鈴木多美子

米各地にある県人会では琉舞、三線、エイサーなどが盛んに行われているが、その多くに指導者がいない。動画を見ながら練習しており、次世代への継承が難しいと悩みを抱えている。

「世界のウチナンチュの目」に伴い、県が指導者を派遣し交流を図る沖縄文化芸能派遣事業がオハイオ州県人会友の会で実施された。イベントに派遣され花を添え、芸能の粋を見せたのは演出家であり音楽家の平田大一さんと、諸見里青年会の花城悠さん(26)、砂川広平さん(26)、伊礼廉太さん(21)の4人。平田さんは、イベントを演出することにも、横笛や太鼓を演奏した。地元オハイオ州のエイサーグループに、地元の子どもエイサーグループも参加させ、

沖縄芸能の指導者派遣

ユーモラスな楽しい振り付けを教え

た。
ステージでの子どもたちの一生懸命な演舞に会場から大きな声援が送られていた。平田さんは「エイサーを通して文化継承の兆しを見ることができ、そのブリッジイベントは次につながる」と熱い思いを語っていた。

一方、諸見里青年会のエイサーを動画で見ながら練習してきた友の会エイサーグループにとっては、念願の直接指導を受けることができ、3人による指導の下で練習を重ねた。イベントでは、3曲続けて熱演し、切れのある力強い演技で会場を沸かせた。諸見里青年会のメンバーと共に友の会エイサーグループは、練習の成果を発揮していた。指導者の4人は、地元の高校と小学校でもエイサーなどを披露し、沖縄伝統芸能のアピールに一役買った。今後も沖縄文化芸能派遣事業が継続し、各県人会が琉球伝統芸能の素晴らしさを再認識できる機会になればと願う。

(バージニア通信員)

The Chicago Shimpo

THE CHICAGO SHIMPO www.chicagoshimpo.com Friday, November 23, 2018

Okinawa Day in Chicago Showcasing Its Dynamic Arts & Spirit



Children from "Okinawa Day" perform "The Okinawa Festival" in Chicago on November 23.

"Worldwide Okinawa Day in Chicago" took place on November 23 at the University Park Center and showcased Okinawan music, dance, and martial arts.

Former Okinawa Governor Takeshi Onaga, who died last August, declared October 2018 as "Worldwide Okinawa Day" at the 4th Okinawa Festival two years ago. The purpose is to connect Okinawan people in the world through Okinawan culture and extend future generations to do the same to preserve and increase awareness of Okinawa's performing arts, martial arts, history, and spirit.

According to M.C. Linda Aoki, Chicago was one of the cities selected to provide special instructions from professional performers such as Daiki Hirono and Yoshiko Uezu. So the members of the Chicago Okinawa Ensemble and their family and friends got together to practice performances for several months. Aoki said that the result exceeded their expectations.

"We are grateful to the government of Okinawa for this unique opportunity and for recognizing needs."

See page 7 Okinawa Day

Avatar: Disruptive Technologies and the Future of Transportation

Instead of actually flying by airplane, remain in our own homes and "experience" flying between locations — such a dream may become a reality in the future, thanks

「沖縄の日」ウチナーンチュ・デー

▶ 22面より

に里う。と述べた。

舞台は仮装の舞で飾られる踊り「おまやで風」が始まり、空手の型が披露された。早田大 氏の、華は見るだけでなく体験するものという方針、踊りとパフォーマンスは、平田氏とイヅモ達のグループ「ちびどんどんエイサーチーム」により「エイサー・ダイナミック」が文字通りダイナミックに演じられ、会場を埋めた人々の心に沖縄文化の興奮を伝えた。

後半は上江洲秀明氏による「琉球舞踊」が披露され、「琉球舞踊」で賞状を授けられた。また、エイサーチームは新しい形の「カスチャー」が披露され、舞の熱気はクライマックスに達した。最後はパフォーマンスと賞状が

一休となり、カチャーシーを踊り舞を催した。

最後はパフォーマンスと賞状が



「エイサー・ダイナミック」



ウチナーンチュ・デーの最後は、全員で踊るカチャーシーで盛り上がった。

早田大一の「ウチナーンチュ」

結伝：繋ごろう、伝えよう、島心

沖縄の日「ウチナーンチュ・デー」

沖縄のダイナミックな音楽や三線演奏、太鼓と共に踊るダンス、獅子舞、武道などを通じて、沖縄の人々の心を伝える「ウチナーンチュ・デー」が11月3日、グレンジャーにあるパーク・センターで開催された。

同「ウチナーンチュ・デー」は、今年8月に過ぎた副知事兼知事補佐前知事兼知事が2018年の「第6回世界ウチナーンチュ大会」において、「10月30日を沖縄の日とする」という案が採択された。

明後日より実施されたもので、沖縄の心を沖縄のハイキング・アートや武道を通して世界に発信しようという目的を持つ。また、世界に住む沖縄の人々を繋ぐウチナーンチュ・ネットワークで沖縄芸能、武道、歴史、精神を次世代や沖縄の心を持つ人達に伝えようとするもの。

今年はシカゴが開催地の一つに選ばれ、沖縄から早田大 氏（世界ウチナーンチュ大会記念イベントの総合コーディネーター及び演出指導）と、上江洲安秀氏（龍神伝説所蔵）が訪れ、パフォーマンスの指導に当たった。

司会を務めたり、早田大 氏は「貴重な沖縄文化遺産を語り、若い世代に伝える機会を得



沖縄を代表する島の声と語り

くら研究では食文化だけでなく、日本文化そのものを日本の外へ広げたいといふ目的があり、日本人ではないから特別スタッフでも「いらつしやいませ」とお客様に声を掛けるのも、その流れだろう。

ピツクラボンの原品は、米国独自のオリジナル原品を製

（21面へ続く）

現れてくる奇明の物々



醤油、味噌、豚骨ラーメンもある

たことを非常に高ぶしく思う」と語る。

同会にはデニー・玉城・沖縄県知事代理の山城貴子氏、伊藤友由・在シカゴ総領事、吉池孝・シカゴ日本人会会長、三谷智郎・JCCC事務局長、鳥屋克実・集英会補習校校長らが出席した。

山城氏は、「昨年は海外12カ所で「ウチナーンチュの日」を祝うイベントが開催された。シカゴの日本祭りでも多くの観客を誘致で魅了したことは、シカゴ日本人会の半世紀を超える歴史の中で誇りに思ってきたウチナーンチュの精神とネットワークの間であり、深く敬意を表すると共に、誇りを

（21面へ続く）

立ち上がる獅子舞



第4章 関連資料

世界のウチナーンチュの日を記念した
手作りケーキ (オハイオ)



世界に雄飛する三線文化を
記念してサイン (シカゴ)



移民劇「メンソーレワールドウチナーンチュ」の
チラシをコラージュしたボード (バンクーバー)



4-1 制作物

1) 旅のしおり



2) 舞踊に使う小道具



今回の派遣事業のプログラム、マミドーマ用に製作された現地県人会による小道具の数々。新たな演目が引き続き演じ続けられていくためには主体的な取り組みは大切

3) 舞台衣装不足と聞き平田氏よりバンクーバー沖縄県友愛会に着物を5枚進呈



4-2 掲示物・配布物



会場受付も笑顔でハイサイ！ハイタイ！
(オハイオ)



手作りの指導者紹介ボードも製作
(オハイオ)



シカゴ沖縄県人会のフラッグがお出迎え
(シカゴ)



参加者に配布されたパンフレットと記念グッズ
(シカゴ)



ウチナーンチュの日PRバナーを掲示
(バンクーバー)



バナー掲示後、セッティングされた会場
(バンクーバー)